

令和4年度 卒業証書授与式を行いました

3月1日の卒業式では4年ぶりに在校生も出席し、来賓としてPTA会長布野様、PTA副会長渡辺様にご臨席を賜り、卒業生の保護者の皆様と共に卒業生146名の晴れ姿を見守りました。

校長式辞では、「周囲への感謝の気持ちを忘れることなく、希望と勇気と高い志を持って新たな世界に向かってほしい。今の今という一瞬を大切にして、新しい時代へ大きく羽ばたくことを願っています。」とお話をされました。



【呼名をする各担任】



PTA会長布野様からは「誰が正しいかではなく、何が正しいかと理解することが大事である。何が正しいかを考え、置かれた環境の中で最善を尽くすことで物事は必ずよい方向に向かっていく」というお話を頂きました。

在校生代表の矢倉さんから「いつも在校生の一步先を行き、見習うべき工業生の手本としてあり続けてくださいました。これからは、先輩方にかわり私達がこの出雲工業高校の伝統を引き継いで参ります。」という送辞に対して、卒業生代表の三島さんは、「3年間コロナ禍で多くのことを我慢してきたからこそ、当たり前笑顔で毎日過ごせる友や仲間がいることは素晴らしいことだと感じ、多くの人にいつも支えてもらっていたことに気づくことができました。今後大きな壁にぶつかったとしても、この出雲工業高校で得たたくさんの思い出、学び、誇りを人生の糧とたくましく生きていきたい。」という答辞で応えました。



校歌斉唱では大きな歌声が響き渡りました。全校で校歌を歌うことも4年ぶりのことで思いのこもった校歌斉唱となりました。卒業式終了後、3年生は各教室へ移動し、卒業に際し3年間の思いを語り合いました。また、担任や各科の先生方からも温かい応援メッセージを送ってもらいました。